

さらなる技術革新と新商品開発への挑戦



執行役員
スペシャリティ事業部門長

須川 哲夫

DNTコーティング技報No.14の発刊にあたりご挨拶申し上げます。

本報では、発刊当初より当社が取り組んできました「環境対応」・「新機能」を中心とした新規技術と新商品をご紹介します。今日では、急激な社会環境の変化に伴い、市場の要求はますます迅速、かつ高度な技術開発が求められています。

当社は、長年培ってきた基盤技術の伝承・強化と共に弛まぬ研究により、社会・市場が要望する技術革新と新商品を生み続け、社会へ貢献することがメーカーとしての命題と捉え、継続して挑戦しております。近年では、重防食塗装において防食下地から上塗塗料までの水性化に成功し、環境負荷物質低減とトータルVOC (Volatile Organic Compounds：揮発性有機化合物)を大きく削減できる、世界初の「DNT水性重防食システム」を上市いたしました。また、塗膜下の金属の腐食状態を、電気化学的に非破壊で測定可能な塗膜下金属腐食診断装置を用い、最適な塗り替え時期と塗り替え仕様を提案する「DNT塗膜診断システム」の事業化を実現しました。

今回の「DNTコーティング技報」No.14では、橋梁などの大型鋼構造物における上記各システムの研究成果・活動状況・将来展望に加え、高層ビル・住宅建材・家電製品といった幅広い塗料事業分野の技術開発、環境への取組み、水系分散技術を取り入れた新蛍光顔料をご紹介します。また、当社が塗料事業以外の新たな分野として育成・強化していますスペシャリティ事業部門からの新商品として、独自のナノ分散技術によるタッチパネルなどのディスプレイ用光学フィルム向け「高屈折率コーティング材」を掲載しています。これらの当社が得意とする技術は、国内社会インフラ老朽化対策の課題解決のみならず、グローバル市場でも社会の一翼を担うことのできる新技術と考えております。

当社は、今後も社員全員が一丸となって技術革新を続け、2020年夏に開催が決定した東京オリンピック・パラリンピックに向けたインフラ整備・ディスプレイ関係においても、時代を先取りした提案型の新商品を創り続けてまいります。本誌が日頃ご愛顧を頂いているユーザーをはじめとした皆さまとのコミュニケーションの場となり、僅かでもお役に立ちお喜び頂けますことを、心より期待しております。